

SAMPLE

別紙②-1

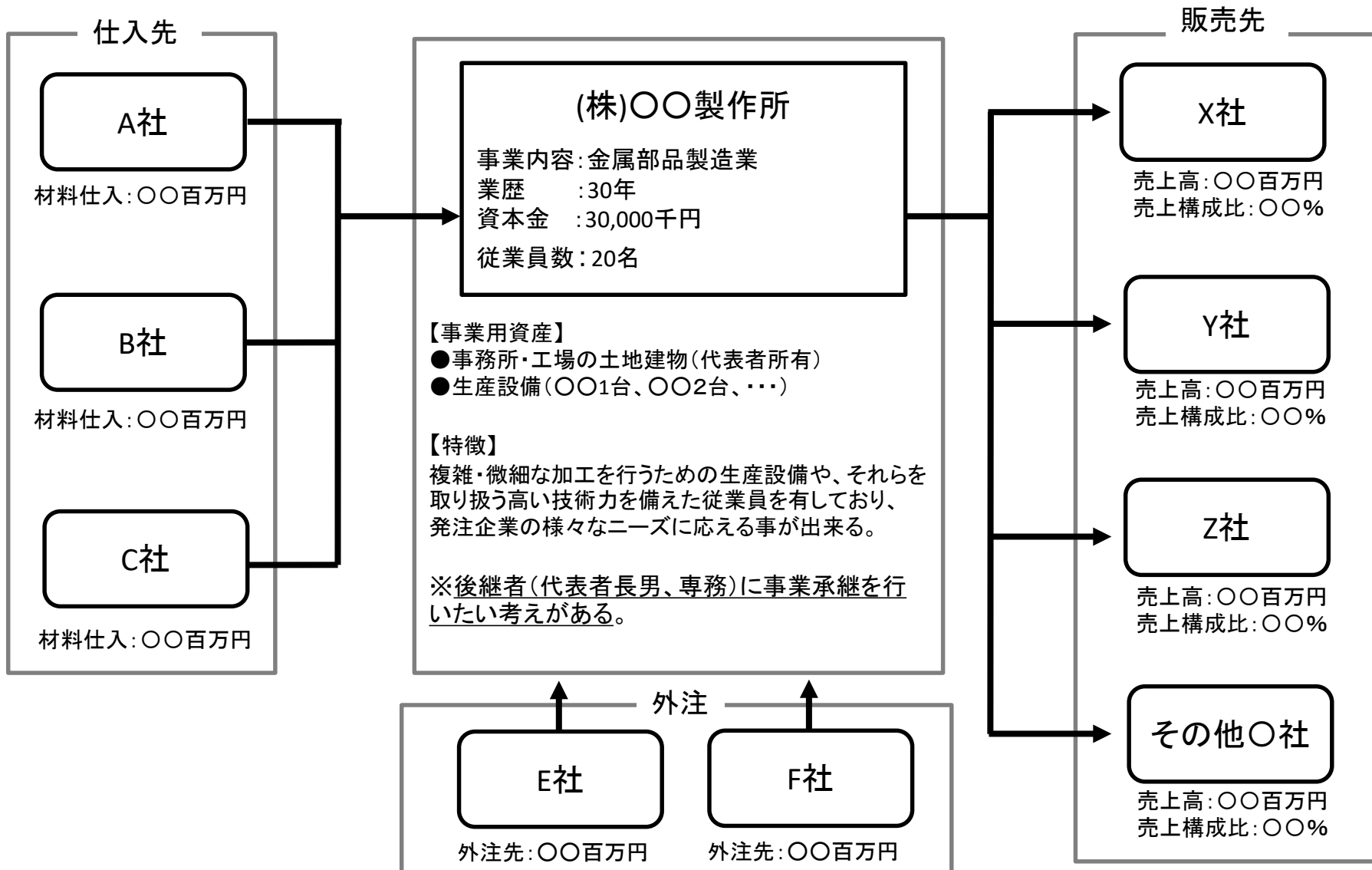
事業計画書

株式会社 ○○製作所
代表取締役 計画太郎

令和元年●月●日

SAMPLE

《ビジネスモデル俯瞰図》



SAMPLE

《資金実績・計画表》

(単位:千円)

29年12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
売上高	-	15,000	14,000	22,000	15,000	15,000	16,000	18,000	14,000	18,000	20,000	17,000	18,000	202,000
借入	-	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
返済	-	230	230	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	3,960
借入金残高	48,160	47,930	57,700	57,350	57,000	56,650	56,300	55,950	55,600	55,250	54,900	54,550	54,200	-
現預金残高	42,800	40,800	46,500	45,800	43,800	41,500	42,000	43,300	41,500	43,200	43,800	43,500	42,900	-

30年12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
売上高	-	14,000	14,000	20,000	16,000	14,000	18,000	17,000	13,000	18,000	17,000	19,000	20,000	200,000
借入	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
返済	-	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4,200
借入金残高	54,200	53,850	53,500	53,150	52,800	52,450	52,100	51,750	51,400	51,050	50,700	50,350	50,000	-
現預金残高	42,900	41,300	40,600	41,800	41,500	40,500	42,300	42,000	49,800	40,500	40,300	41,200	42,100	-

令和1年 12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月 (見通)	5月 (見通)	6月 (見通)	7月 (見通)	8月 (見通)	9月 (見通)	10月	11月	12月	計
売上高	-	15,000	12,000	21,000	15,000	14,000	18,000	17,000	14,000	18,000				
借入	-	0	0	5,000	0	0	0	0	0	0				
返済	-	350	350	350	350	350	350	350	5,350	350				
借入金残高	50,000	49,650	49,300	53,950	53,600	53,250	52,900	52,550	47,220	46,850				
現預金残高	42,100	41,800	44,700	45,900	44,300	42,800	44,500	45,200	43,800	44,400				

※今後の見通しについて6ヶ月程度記載すること

※記載欄が不足するときは適宜追加すること

SAMPLE

《 損益計画 》

(単位:千円)

	直近期	計画0年目	計画1年目	計画2年目	コメント
	30年12期	令和1年12期	2年12期	3年12期	
売上高	200,000	200,000	202,000	204,000	アクションプラン①より
売上原価	160,000	160,000	159,580	161,160	
（原価率）	80%	80%	79%	79%	アクションプラン②より
売上総利益	40,000	40,000	42,420	42,840	
（粗利率）	20%	20%	21%	21%	
販売費・一般管理費	38,000	37,500	36,300	36,100	
（人件費）	28,000	28,000	28,000	28,000	
（減価償却費）	3,000	2,500	2,300	2,100	
（その他経費）	7,000	7,000	6,000	6,000	アクションプラン③より
営業利益	2,000	2,500	6,140	6,340	
営業外収益	2,000	2,000	2,000	2,000	
営業外費用	3,000	3,000	3,000	3,000	
（支払利息）	3,000	3,000	3,000	3,000	
（その他）	-	-	-	-	
経常利益	1,000	1,500	5,140	6,740	
特別利益	-	-	-	-	
特別損失	-	-	-	-	
税引前利益	1,000	1,500	5,140	6,740	
法人税等	400	600	2,100	2,700	
当期利益	600	900	3,040	4,040	
借入金残高	30,000	30,080	28,000	26,000	
簡易CF （当期利益＋減価償却費）	3,600	3,400	5,340	6,140	

SAMPLE

《アクションプラン》

	主な経営課題(計数面)
1	製品ごとの原価を把握しておらず、利益率などを意識した経営が出来ていない
2	取引先からの発注待ちの経営体質が染みついており、受注が重なった際等の対応として外注依存度が高い
3	資金不足になると安易に運転資金の調達や役員借入を行っており、販管費などの見直しが出来ていない

主要課題に対する アクションプランの具体的な内容		実施時期	主担当	計画0期目	計画1期目以降
①	●取引先への営業強化・情報提供をこまめに行い、能動型の受注確保を行う体制を構築。 ●製品ごとの利益率を把握し、積極受注を行うべき製品を設定する。	今期より	専務 認定支援機関	±0	売上+1%
②	●自社の加工能力を踏まえ外注先へ流す案件に優先順位をつける。	①の結果を踏まえ速やかに着手	専務 社長	±0	原価率▲1%
③	●経費の支出明細が見える化し、削減について社内全体で取組む。 ●資金繰り表を作成し収入と支出の流れ掴み、計画的な資金管理を行っていく。	・今期中に着手	専務 経理担当者 認定支援機関	±0	販管費▲1M

SAMPLE

《アクションプラン(事業承継に向けた取組み部分)》

	事業承継に向けた課題
1	企業価値の算定・現状把握
2	後継者の育成
3	自社の財務内容の改善

主要課題に対する アクションプランの具体的な内容		実施時期	主担当
①	<ul style="list-style-type: none">● 自社株評価を行い、自社の企業価値を把握する。● 自社の経営資源の状況、財務内容等を後継者と共有する。	来期より	社長 専務(後継者) 認定支援機関
②	<ul style="list-style-type: none">● 社長単独で行っていた取引先への営業活動に専務も同行。● 経理・労務分野にも専務を従事させ、経営者として必要な知識・経験を習得させる。	今期末より	社長 専務(後継者)
③	<ul style="list-style-type: none">● 顧問税理士と経理担当者が協力し、月次試算表の作成に着手し、内部モニタリング体制を整備。● 社長の役員報酬を引き下げ、差額分で社長からの役員借入金の返済をすることで、計画的な減少に取り組む。 <p>※アクションプラン(係数面)の取組みと連動</p>	今期より 来期より	経理部長 専務(後継者) 認定支援機関